学校番号	1008

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	(学)総合デザイン技術Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

(学)総合デザイン技術Ⅰをもとに、授業を展開していきます。この授業では、オリジナルな造形表現を作品制作にいかす技術を習得し、他者の作品を鑑賞しながら、自分の作品制作にいかすための視野を広げます。

2　学習の到達目標

（学）総合デザイン技術Ⅰの応用として、
【知識及び技術】
・デザインについて社会や生活との関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・デザインにより解決できる課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・デザインによる豊かで快適な生活空間を構築する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・作品制作を通して専門的な知識･技術､そして造形表現について理解し、作品に活かすことができる。	・コンセプトに留意し用途と目的に応じた表現をすることができる。 ・オリジナルな表現技法を作品に取り入れることができる。 ・計画的に作品制作をし、丁寧に仕上げることができる。	・優れた作品を鑑賞し、自己の作品制作に活かすための視野を広げる。 ・作品制作を通して知識・技術を得ようと主体的に学習に取組むもうとする
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	平面構成	イニシャルデザイン構成 ・構成要素と表現技法 ・ワークシート ・作品制作 ・プレゼンテーション	a/b:ピクトグラムの目的を理解し、平面構成の基礎をもとに色彩構成と形態を考え、適切な技法を用いて効果的な表現をする b:自分の作品を第三者に伝わるようなプレゼンテーションをする。 c: 多様な表現があることに意欲を持ち、主体的に取り組もうとする。また自己評価及び他者の作品に対して批評をする。	・作品 ・ワークシート	・作品 ・プレゼンテーション ・ワークシート	・制作の様子 ・プレゼンテーションの様子 ・ワークシート
	VIP(Visual Identity Plan)①	VIP概要 ShopPlan ・マーケティングリサーチ ・ワークシート ・プレゼンテーション	a/b:業種についてマーケティングリサーチをしていく。情報収集を行う上で、たくさんの情報を取捨選択していくことができる。 b:情報をうまくまとめ、第三者に伝わるようなプレゼンテーションをする。 c: 他者のプレゼンを意欲的に聞き入れ、自分の視野を広げる。また自己評価及び他者の作品に対して批評をする。	・作品 ・ワークシート	・作品 ・プレゼンテーション ・ワークシート	・制作の様子 ・プレゼンテーションの様子 ・ワークシート

2学期	VIP（ Visual Identity Plan ）②	ロゴタイプ・シンボルマークデザイン ・表現の工夫 ・色彩構成 ・ワークシート ・作品制作 ・プレゼンテーション	a/b:制作コンセプトに留意し、用途と目的に応じた表現ができる。テーマ設定からプレゼンテーション までのデザインの流れを計画的に進める。 b:第三者に伝わるようなプレゼンテーションをする。 c:また自己評価及び他者の作品に対して批評できる。	・作品 ・ワークシート	・作品 ・プレゼンテーション ・ワークシート	・制作の様子 ・プレゼンテーションの様子 ・ワークシート
		アイテムデザイン ・表現の工夫 ・色彩構成 ・ワークシート ・作品制作	a/b:制作コンセプトに留意し、用途と目的に応じた表現ができる。テーマ設定からプレゼンテーション までのデザインの流れを計画的に進める。 c:表現に意欲を持ち、主体的に取り組もうとする。	・作品 ・ワークシート	・作品 ・ワークシート	・制作の様子 ・ワークシート
3学期		作品完成 ・プレゼンテーション	a/b:視覚伝達の構成要素に対する知識とレイアウトの効果を理解する。 b:第三者に伝わるようなプレゼンテーションをする。 c:自己評価及び他者の作品に対して批評をする。	・作品	・作品 ・プレゼンテーション	・制作の様子 ・プレゼンテーションの様子

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度